

# 2025年12月期第2四半期

## 決算説明会資料

STOCK CODE : 3695

GMOタウンWiFi社の連結が開始し、第2四半期としては大幅増収増益

**GMO** RESEARCH & AI

代表取締役社長 荻田 剛大

専務取締役CFO 森 勇憲

2025年8月

# アジェンダ

1. サマリー
2. 経営数値報告
3. GMOプロダクトプラットフォーム社の戦略
4. 戦略の進捗状況



# 会社の名称と連結対象の整理

GMOプロダクトプラットフォーム連結企業集団：連結全体

GMOリサーチ&AI：単体+海外法人

GMOタウンWiFi：単体（1Qが非連結）

FY2025				
1Q	2Q	3Q	4Q	
GMOリサーチ&AI (次頁以降、リサーチ&AI社)	GMOプロダクトプラットフォーム連結企業集団 (10/1に社名変更予定) (次頁以降、プロダクトプラットフォーム社)			
開示対象				
GMOタウンWiFi (次頁以降、タウンWiFi社)				
参考開示	4/1			開示対象

GMOタウンWiFiが  
GMOリサーチ&AIの100%子会社に

# 1. サマリー

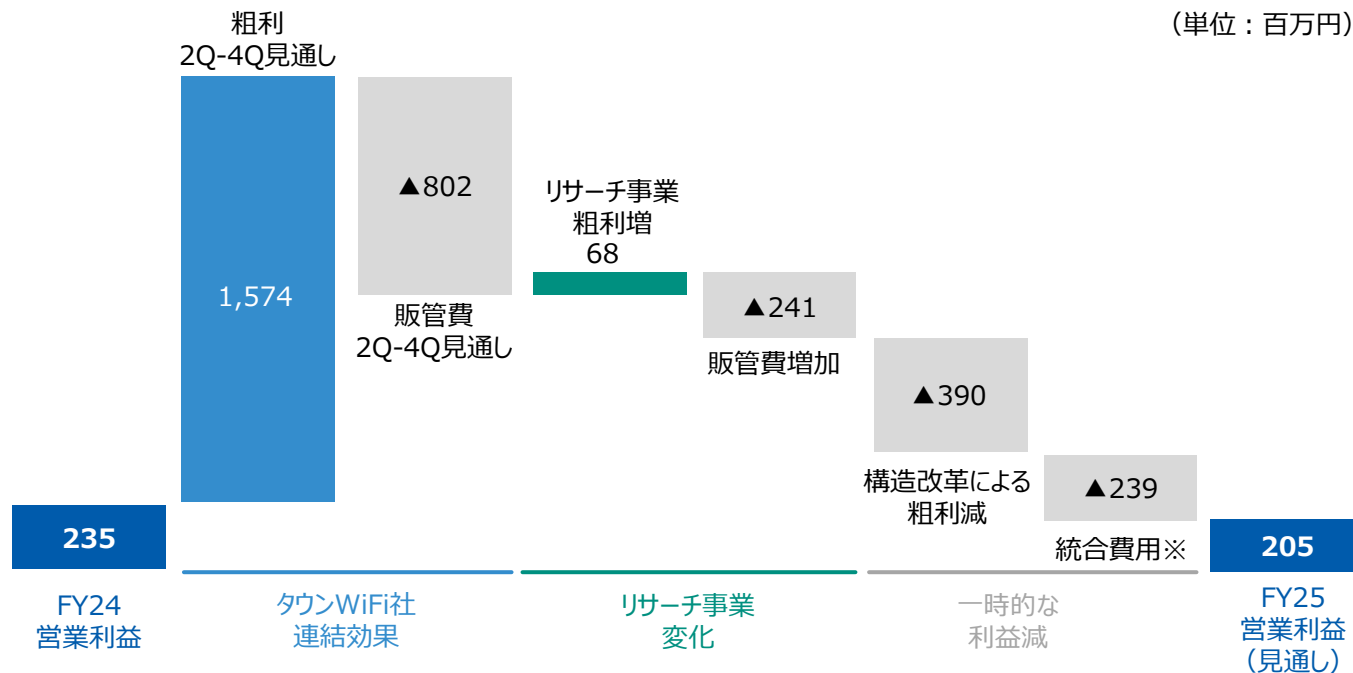
---

第2四半期は好調、今期は一時的費用が多いため、来期は大幅成長見通し

- 第2四半期は、タウンWiFi社を連結子会社化したことが貢献し、売上高18.5億円、営業利益2.0億円。前年同期比で売上高+7.4億円、営業利益+2.5億円
- リサーチ事業を、マーケットの期待に応えられる高収益事業に転換できると判断し、構造改革を推進。この改革に伴い、下半期に最大で売上高5.9億円、営業利益3.9億円の一時的な減少を見込む
- 来期は、以下の要因によって大幅増益の見通し
  - タウンWiFi社：今期末連結だった1Q分+オーガニック成長
  - リサーチ&AI社：構造改革の進展と一時的費用の剥落により収益性が回復

# 今期の営業利益の増減分析

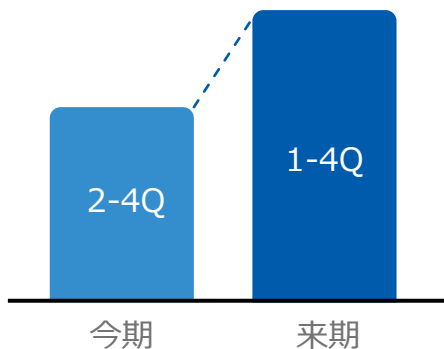
タウンWiFi社の連結により営業利益が7.71億円増加。リサーチ事業の粗利が0.68億円増加、販管費が2.41億円増加。一時的な費用を、構造改革で3.90億円、統合費用で2.39億円計上。結果、営業利益は0.28億円減少（一時的な利益減を除けば6億円の増加）



※統合費用には、2025年4月1日のタウンWiFi社との株式交換関連費用、および2025年10月1日（予定）の当社の吸収分割と持株会社化関連の費用の両者が含まれています（次頁以降同一）

来期は以下の増益要因があり  
営業利益10.8億円(1Qが連結されていた場合のタウンWiFi社の営業利益)が  
スタートラインになる大幅増益見込み

タウンWiFi社が通期で貢献



リサーチ事業の  
一時的な利益減 (統合費用と構造改革)が無くなり  
収益力が向上する

+



※今期、仮に1Qから連結していた場合の営業利益は10.8億円  
※来期もタウンWiFi社はオーガニックでも成長する見通し

## 2. 経営数値報告

---

第2四半期の実績、通期見通し、配当予想を説明



# 2025年度第2四半期決算

単位：百万円	FY24 2Q 4-6月	FY25 2Q 4-6月	前年同期比
<b>売上</b>	<b>1,103</b>	<b>1,850</b>	<b>+67.7%</b>
リサーチ&AI	1,103	1,086	▲1.5%
タウンWiFi	非連結	782	-
<b>営業利益</b>	<b>▲49</b>	<b>204</b>	<b>黒字化</b>
リサーチ&AI	▲49	▲68 <small>うち▲25が統合費用</small>	-
タウンWiFi	非連結	272	-
<b>最終利益</b>	<b>▲20</b>	<b>55</b>	<b>黒字化</b>
リサーチ&AI	▲20	▲122	-
タウンWiFi	非連結	178	-

■ 4月1日よりタウンWiFi社が連結になったことで、前年同期比で増収増益

■ リサーチ&AI社は、売上は前年同期比で減少するも、粗利額では+0.3億円だった結果、統合費用を除けば営業利益は僅かながら成長

■ タウンWiFi社のノウハウをリサーチ事業に注入することで、ストック型で高収益&高成長の事業モデルへの構造改革ができると判断

■ 前年同期は連結対象外のタウンWiFi社は、売上高+41%、営業利益+36%と順調な成長を遂げている

■ 最終利益は、タウンWiFi社の法人税が大きいことなどで減少幅が大きい

# 2025年度通期見通し

単位：百万円	FY24 通期	FY25 通期	前年同期比
<b>売上</b>	5,025	6,654	+32.4%
リサーチ&AI	5,025	4,400	▲12.5%
タウンWiFi	非連結	2,253	-
<b>営業利益</b>	235	205	▲12.8%
リサーチ&AI	235	▲566 うち▲390が構造改革費用 ▲239が統合費用	-
タウンWiFi	非連結	771	-
<b>最終利益</b>	183	9	▲95.1%
リサーチ&AI	183	▲502	-
タウンWiFi	非連結	511	-

■リサーチ事業を、ストック型で高収益・高成長な事業構造への転換を進めるにあたり、下半期に最大で売上高5.9億円、営業利益3.9億円の一時的な減少が生じる見込み

■構造改革と統合費用の計上により、リサーチ&AI社としては赤字となる見通しだが、来期においては改革を継続しつつも、収支を黒字にすることを経営の前提としている

■前年同期は連結対象外のタウンWiFi社は、売上高+40%、営業利益+43%の見通し

■最終利益は、タウンWiFi社の法人税が大きいことなどで減少幅が大きい

※タウンWiFi社の1Qは非連結なので含まれていない

※内部取引等の連結調整が存在するため厳密には2社の合計が連結にならない

# 2025年度通期見通し (タウンWiFi社1Q連結&統合費用除く)

単位：百万円	FY24 通期	FY25 通期	前年同期比
<b>売上</b> (non-GAAP)*1	5,025	7,471	+48.7%
リサーチ&AI	5,025	4,400	▲12.5%
タウンWiFi	非連結	3,070	-
<b>営業利益</b> (non-GAAP)*1	235	761	+223.7%
リサーチ&AI	235	▲327 うち▲390が構造改革費用	-
タウンWiFi	非連結	1,088	-
<b>最終利益</b> (non-GAAP)*1	183	418	+128.2%
リサーチ&AI	183	▲287	-
タウンWiFi	非連結	705	-

※1 タウンWiFi社の1Q業績を追加し、統合費用のうち来年度以降は発生しない費用を除いた数値

■今年度の営業利益は実態としては7.6億円だと認識

■加えて、リサーチ&AI社としては来期の黒字化が経営の前提なので、3.27億円が改善し、10.8億円が来期のスタートラインになる。大幅増益見込み

# 1株当たり純利益&配当予想額

今期は会社統合と構造改革により大幅減だが  
来期には投資家の皆様の期待に応える配当を目指す

## 1株当たり当期純利益

単位：円	FY24 通期	FY25 通期	前年同期比
開示値	112.10	2.42	▲109.68

※仮に来期のスタートラインである営業利益10.8億円、最終利益7億円で計算すると、158.98円

## 1株当たり配当予想額

単位：円	FY24 通期	FY25 通期	前年同期比
開示値	114.84	34.58	▲80.26

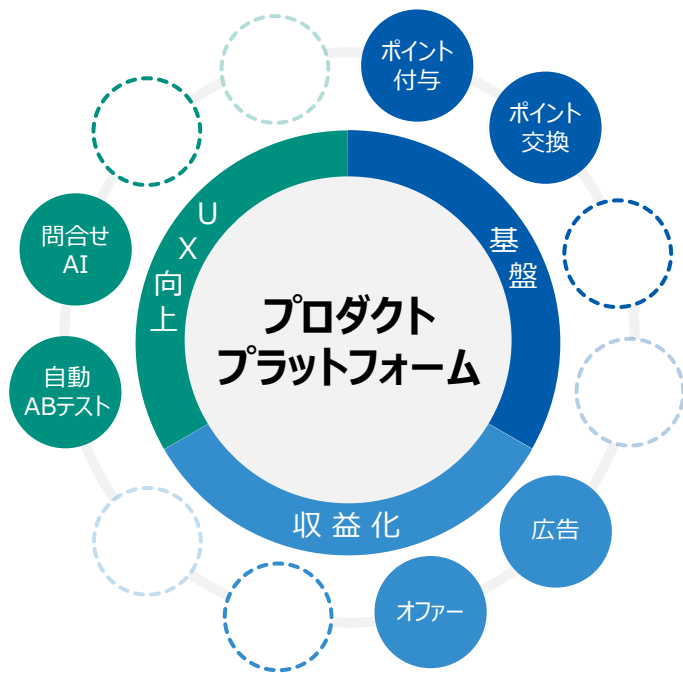
※今期の配当はタウンの1Qの数値も含めて実施します  
※仮に来期のスタートラインである営業利益10.8億円、最終利益7億円で計算すると、119.23円

### 3. GMOプロダクトプラットフォーム社の戦略

---

プロダクト承継とプラットフォームへの統合により非連続な成長を実現

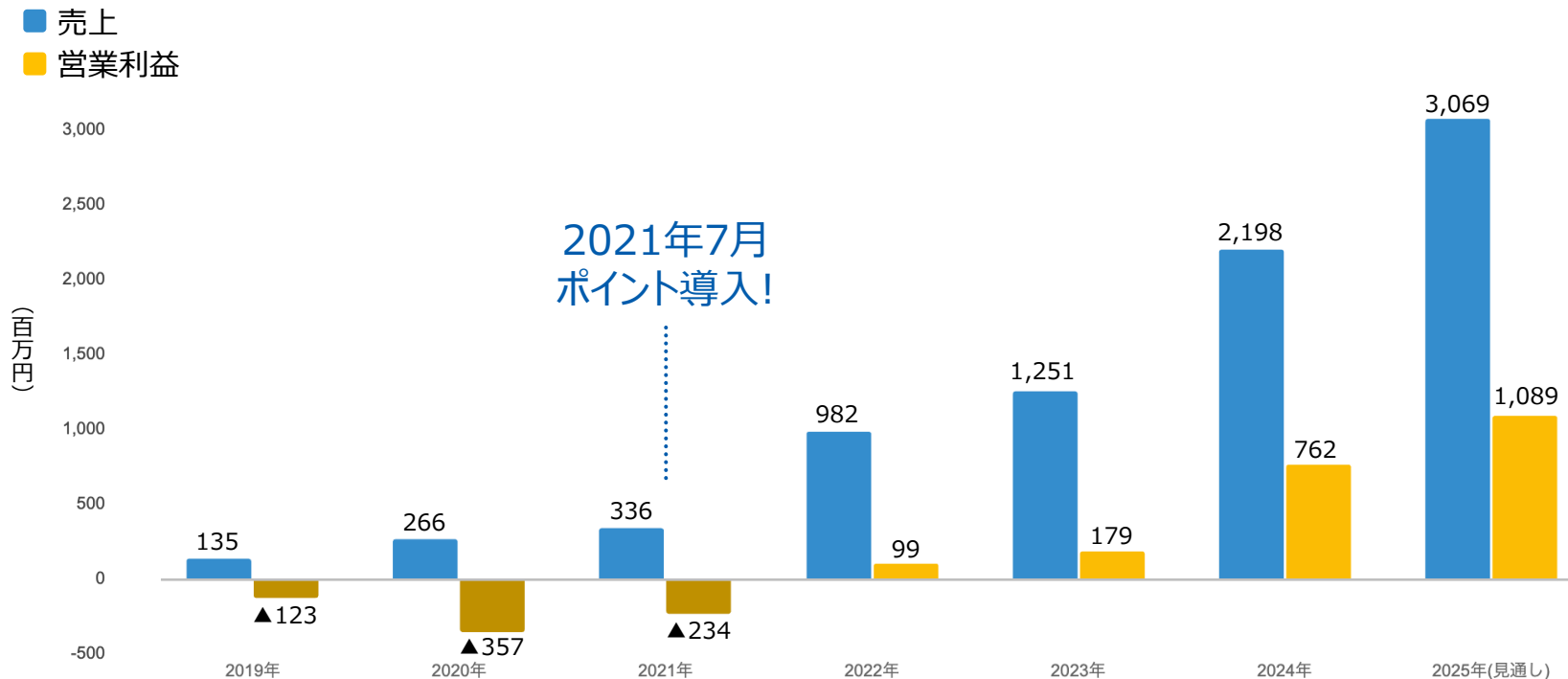
プロダクトを承継し、当社プラットフォームと連携することで  
UX&収益力を向上し、ユーザーの課題を解決する



ポイント機能を基盤としながら  
プロダクトのUX&収益性を向上させる  
様々な機能を持つプラットフォーム

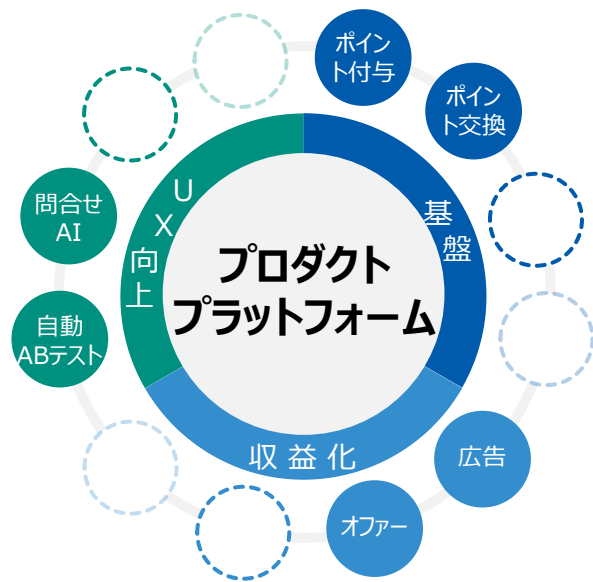
このプラットフォームと連携することで  
再現性のあるプロダクト成長が実現できる

## 「タウンWiFi」アプリの成功事例を基にプラットフォーム化



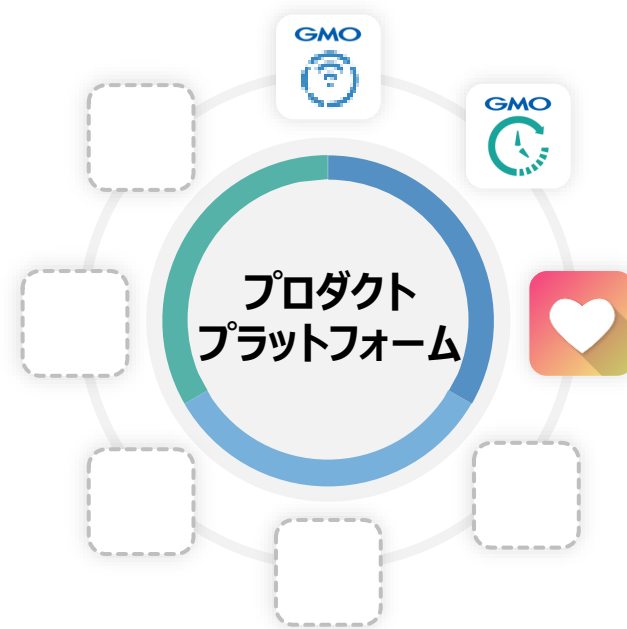


プロダクト承継したプロダクトは「強化」か「活用」で連携される



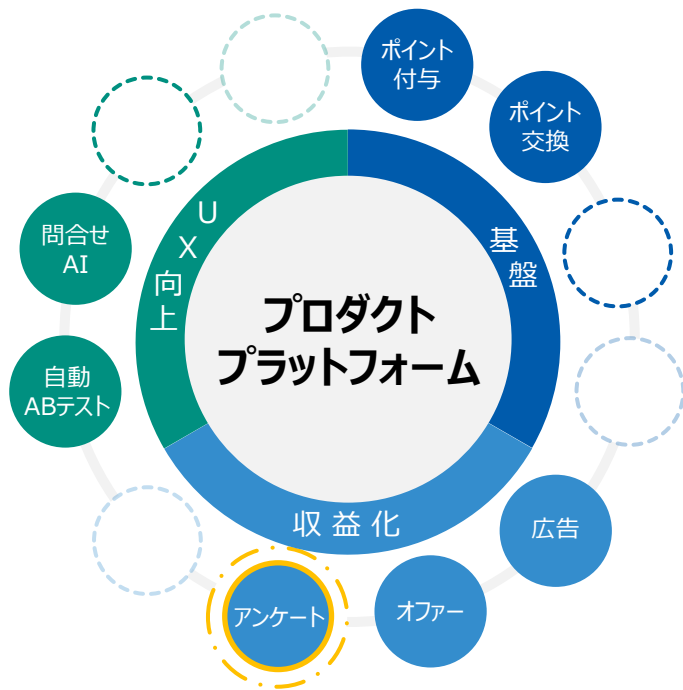
**「強化」**

プラットフォームが提供する機能が増える



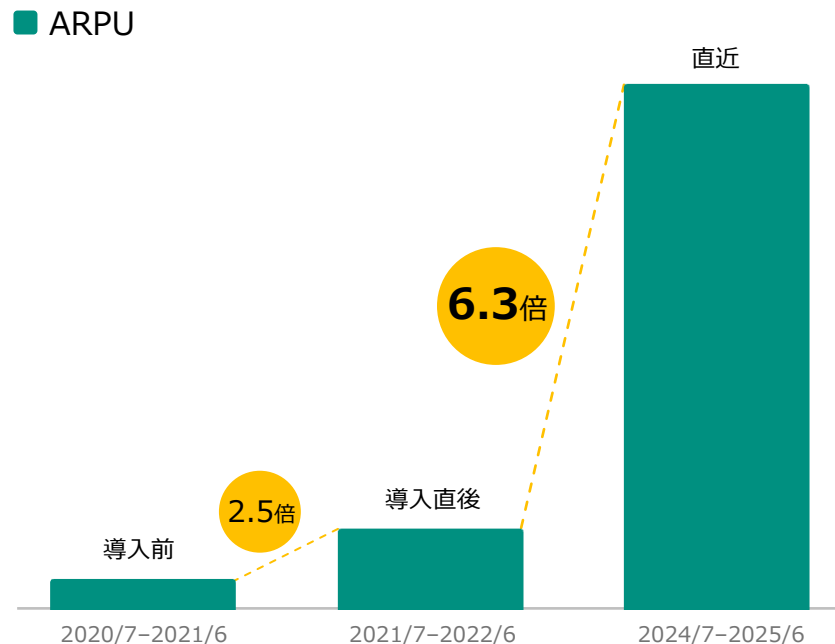
**「活用」**

プラットフォームを導入するプロダクトが増える



プラットフォームに新しい機能を追加し  
各種プロダクトが使えるようにする

プロダクトがプラットフォームを導入することでUXと収益性を上げる



タウンWiFiアプリでの実績

## 4. 戦略の進捗状況

---

4つのプロダクトを承継し、UX改善と収益性向上を実現中

## 4つのプロダクトを承継して、プラットフォームへ統合中

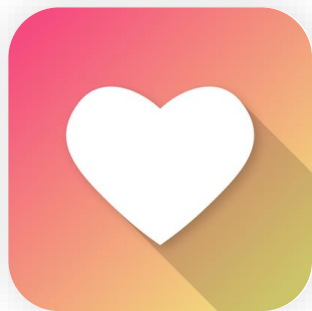
「シフト手帳」

2025年1月承継



「推して何日？」

2025年3月承継



「infoQ」

2025年4月承継



リサーチ&AI社

アンケート

2025年4月承継



リサーチ&AI社

## 活用と強化の観点で統合

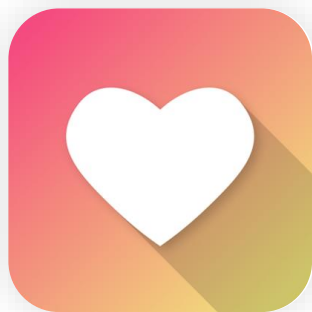
「シフト手帳」

2025年1月承継



「推して何日？」

2025年3月承継



「infoQ」

2025年4月承継



リサーチ&AI社

アンケート

2025年4月承継



リサーチ&AI社

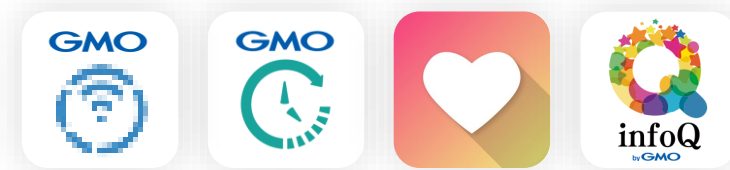
プラットフォームを活用して  
プロダクトの改善、収益化を実施

プラットフォームの強化

## 強化



## 活用



リサーチ事業をプラットフォームに統合可能なストック型に構造改革することで、労働集約度合いを減らし、スケールを可能にする

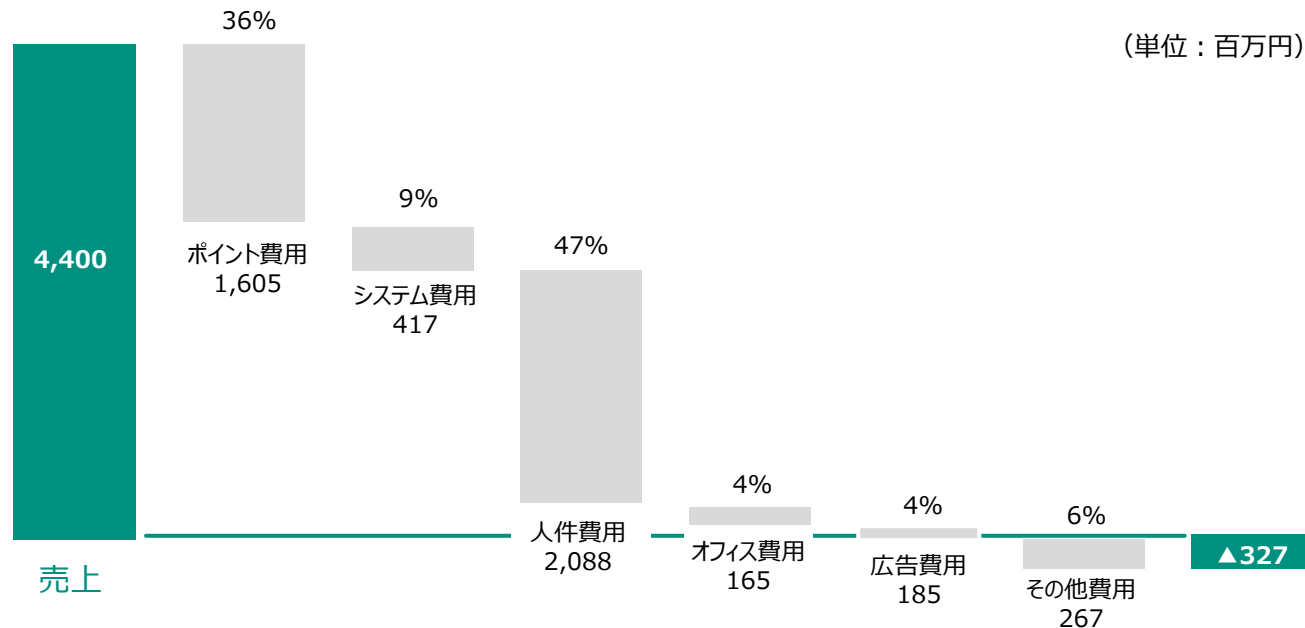
「タウンWiFi」、「シフト手帳」、「推して何日?」、「infoQ」のUXと収益性を向上させて、売上を伸ばす

## ストック型ビジネスへの構造改革が順調に進捗

	2025年度	2026年度	2027年度
事業モデル	労働集約型中心	ストック型中心	
差別化	メンバーの献身及び 値下げで実現	プロダクトの価値で実現	
ストック率	低 (33%)	中	高
営業利益	構造改革費用で3.9億円を計上し <b>▲3.2億円</b> (統合費用除く)	構造改革をしながら <b>黒字</b>	構造改革が完了し <b>高利益率</b>

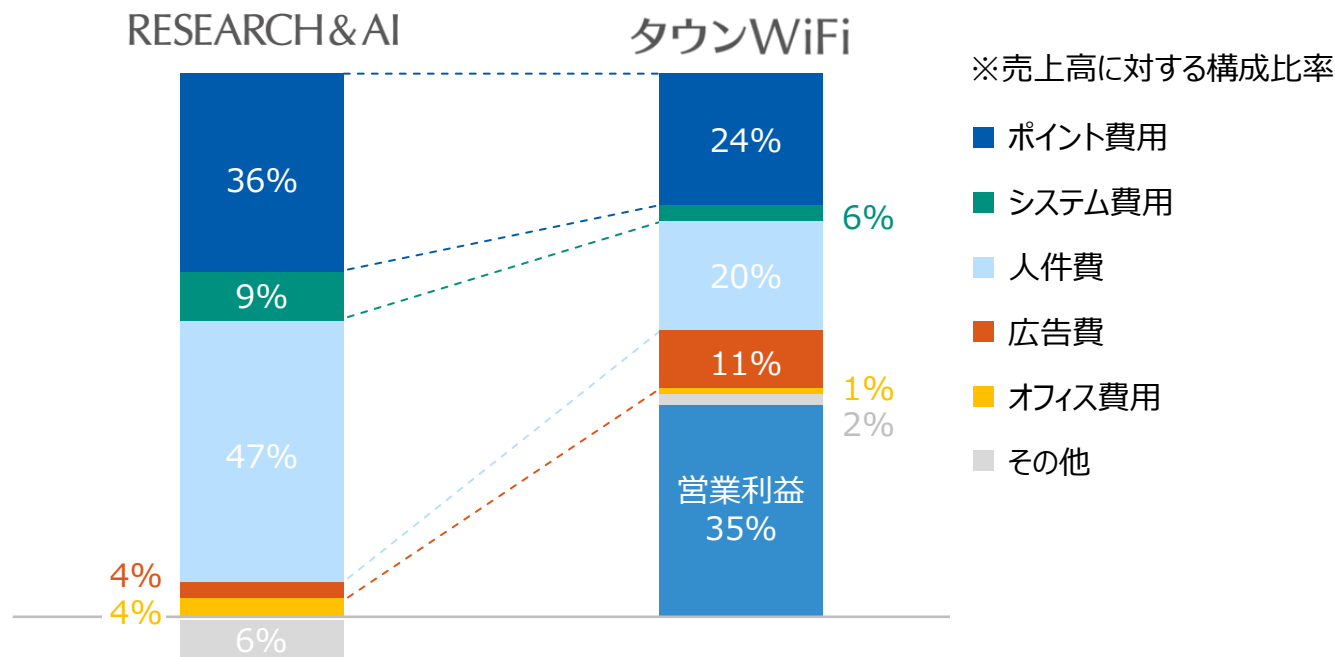


労働集約型ビジネスであることが原因で発生している費用が多く  
効率化の余地が大きい



今期のリサーチ & AI社の損益構造

ストック型への構造改革により、リサーチ事業のコスト構造を  
タウンWiFi社のような高収益のものに効率化する



リサーチという世の中にとって必要なプロダクトを  
メンバーの献身の上に成り立つものから  
プロダクトのUXで選ばれるものに磨き上げる

プロダクトを承継し、UXを改善し続けることで  
ユーザーの課題を解決する

## Appendix. タウンWiFiについて

---

## フリーWi-Fiに簡単に接続でき、ポイントも貯められるアプリ

### ① フリーWi-Fiに簡単に接続

街中のフリーWi-Fiに、面倒な登録手続き不要で簡単に接続できる

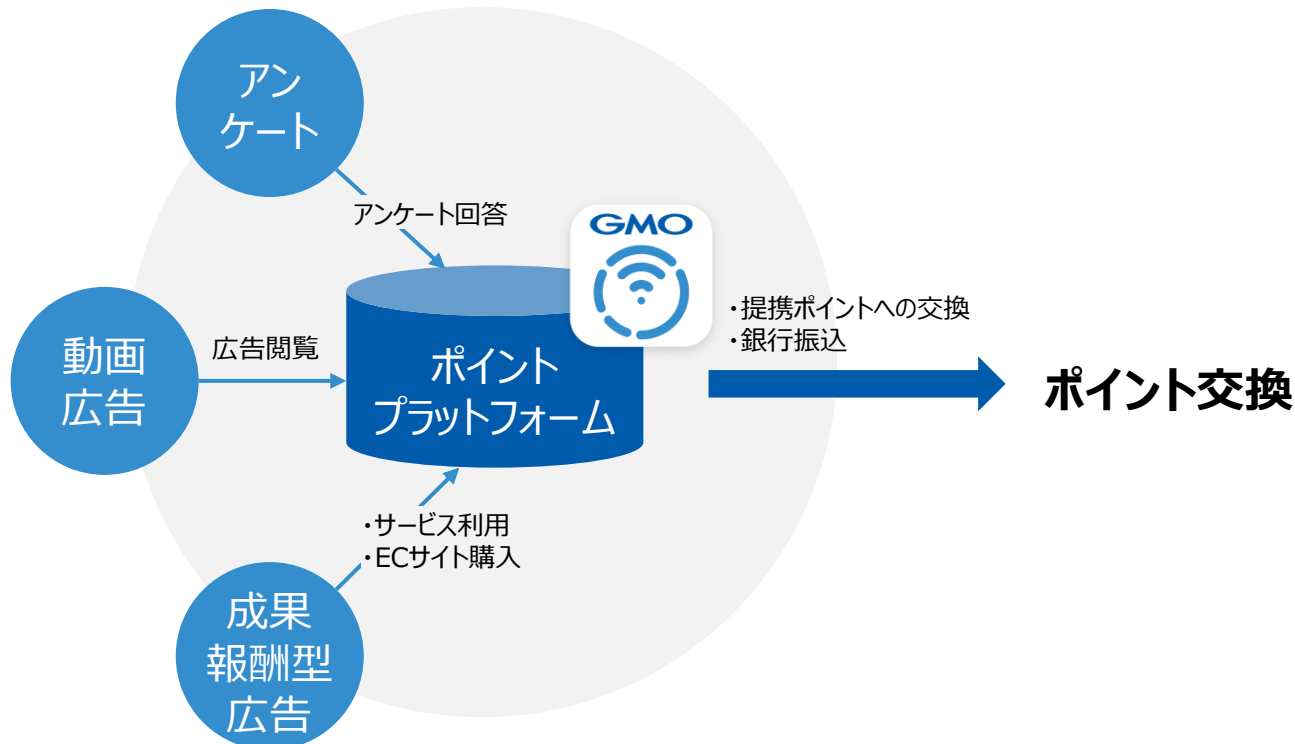


### ② ポイントが貯まる

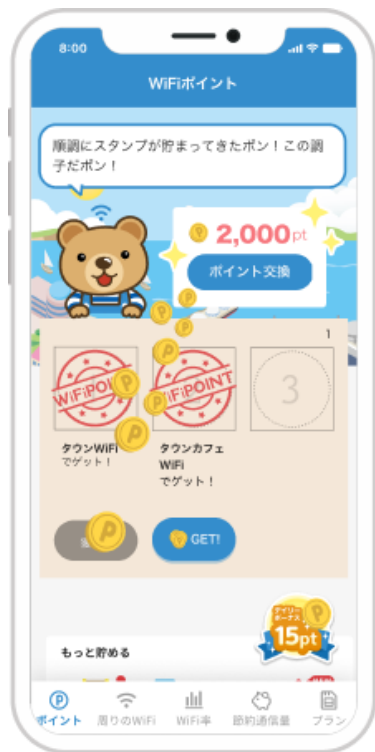
Wi-Fiにつながるとスタンプが貯まり、広告を見るとポイントに変わる



## 一般的なポイ活アプリと同じ、広告やアフィリエイトモデル



## 一般的なポイ活アプリと違い、UXを向上する手段としてのポイント



アプリを使う  
主目的

ポイントの  
位置づけ

UX

### タウンWiFi

通信量節約

ついでの  
お得感の醸成

簡単にWi-Fiに接続  
+  
ポイントも貯まる

### 一般的なポイ活アプリ

ポイントの獲得

使い続けてもらう  
金銭的動機づけ

ポイントが貯まる